

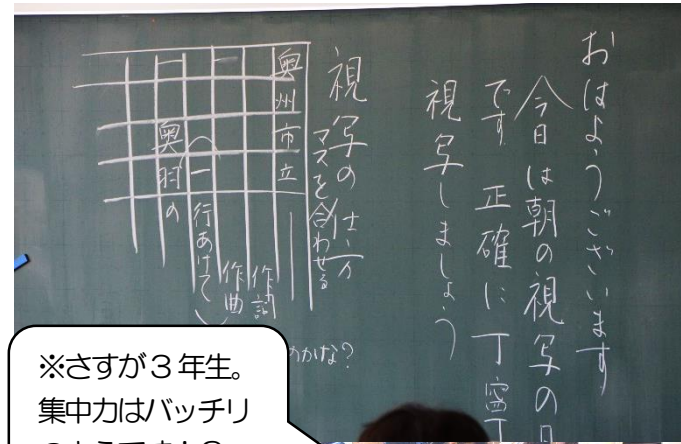
えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

今年も視写に取り組めます

今年も月一回、朝自習の時間に名文・名詩・格言俳句等の視写に取り組めます。視写力がつくと、文をより速く正確に写せるようになります。しかし、「速く文字を書けるようになる」ことだけがメリットではありません。視写力が上がると、「文節のまとまり」や「言葉のまとまり」、「意味のまとまり」ととらえられるようになります。そのほかにも、集中力がつく、字が上手になる、暗誦や記憶に役立つ等々、その教育効果は多大なものがあります。4月の第一回目は、校歌の視写に取り組めました。このあとは、宮澤賢治、ゲーテ、金子みすず、高村光太郎、石川啄木、池上彰といった誰もが知っている文豪の名文に取り組んでいきます。

これぞまさしく継続は力なりを実感できる活動です。この取組は、他校でも注目されています。ぜひとも、しっかりと取り組んでほしいと思います。



※さすが3年生。集中力はバッチリの様です！



非公開

布マスクづくりに取り組んでいます



全学年、家庭科の授業で布マスクづくりに取り組んでいます。これは2年生の授業の様子ですが、皆真剣に作業に取り組んでいました。私事になりますが、私が中学生の時(もう40数年以上前のこと)は、男子は技術科、女子は家庭科と授業が分かれていて、このように男女和気あいあいと裁縫や調理に取り組むことはありませんでした。今は、男女問わず日々の衣食住に携わっていくのが当たり前のこととなりました。家でも是非、子どもたちに家事を分担し、家族の一員としての自覚を促していただきたいと思います。お家でも是非作ってみてください。

3密状態の徹底排除を図っていますが…



生徒会入会式の部活動紹介(左)は、実技は実施せず、部長からの説明にとどめました。中学校の登竜門ともいえる応援歌練習(右)は、応援団が1年生の教室に出向き、発声練習は無しでビデオを使って指導を行いました。普段の授業も、机はくっつけずに等間隔に離して行い、給食も全員前を向いて食べています。効果は限定的なものに過ぎないかもしれませんが、とにかくやるしかありません。

昨日、県高校総体の中止が発表されました。中総体の実施についても不安がある中で、胆沢中生は皆日々やるべきことに粛々と取り組んでいて、大変素晴らしいと感じています。これからも心一つにして、是非この困難な状況を乗り越えていきましょう。

元気は有り余っています



※1年生の緑のジャージが目立ちます。

昼休みになると、たくさんの方が外に出て身体を動かしています。結果的に、密接状態になってしまうこともあるようです。しかしながらこの昼休みは、思いっきり身体を動かすことが出来る貴重な時間です。密接(近くの人に大きな声で話しかけない、無闇にベタベタ触らない等)、けがに十分気をつけて、是非たくさん外で遊んでほしいと思います。

胆沢中には桜並木はありませんが



校舎内のあちらこちらには、今年も色とりどりの植物が置かれています。これらのお世話は、井上先生が一手に引き受けています(重々ありがたくも、甘えていることに大変申し訳なく思っています)。掲示物も大変充実しています。是非、改めて校舎内外をよく見てみましょう。普段何気なく見過ごしているところに、実は凄い発見があるかもしれません。



引き続き朝の検温の徹底をお願いします

土日の不用意な外出も控えていただくようお願いいたします。また、緊急事態宣言が出された都府県から帰省している方がいるご家庭もあろうかと思ひます。引き続きこまめな体調管理に努めていただくようお願いいたします。

